

## 大会競技規定

- 1) 大会に参加できる選手は、各団体推薦選手並びに各都道府県の予選会を通過した選手に限るが、各都道府県の選抜方法は各地区に一任する。
- 2) レーンの割振りについては大会実行委員の厳正な抽選を行い決定するので、レーンの変更はマシントラブル以外は認めない。
- 3) 本大会において“得点が同一の場合”次の通り裁定し、順位を決める。

### 《予 選》

- ①シルバー部門はハンディキャップの少ない方を上位とする。
- ②ハイシリーズとローシリーズの差が少ない方を上位とする。
- ③上記②が同一の場合、ハイゲームとローゲームの差が少ない方を上位とする。
- ④上記②・③共に同一の場合、“全ゲームのストライク数が多い者”を上位とする。
- ⑤さらに上記④も同一の場合“全ゲームのスペア数が多い者”を上位とする。

### 《H/G賞・H/S賞》

- ⑥該当者全員を表彰対象とする。

### 《決 勝》

- ⑦決勝戦3ゲームにおける、ハイゲームとローゲームの差が少ない方を上位とする。
- ⑧決勝戦で上位2名が同点の場合のみ、ワンショットプレーオフで順位を決定する。  
上位2名の場合を除いて、決勝3ゲームを対象に上記④・⑤を適用する。  
※ワンショットプレーオフの投球順又はレーンの決定は予選の順位上位者に決定権を与える。

- 4) 遅刻については、各シフト受付終了時をもって遅刻とし、それ以後の参加は認めない。
- 5) スコアの確認は各ゲームスコアをスコアカードに記載し提出する際、競技者自身がサインをすること。
- 6) アプローチパウダー、その他の物を使用しアプローチの状態を変更してはならない。  
万一不備のある場合は競技委員に申し出てその指示に従うこと。
- 7) 機械によるピン倒れや不明確なものは、全て再配置とするものとする。
- 8) フェールは次の投球者が投げるまでの範囲で採用し、フェール判定機の故障によって生じたと思われる場合は競技委員が検査し裁定する。
- 9) ゲームの途中のリセット（1ゲームにつき1人最大2回まで）は、必ずボックス内の確認を必要とする。
- 10) ボールについては、参加選手1名につき会場内への持込を2バッグまでと限定し、ボールにはテープその他の物を付着させてはならない。又、大会使用ボールは検量証（BPAJ会員センター及びボウラー団体発行の証）を決勝戦スタート前にチェックします。尚、当日検量証不携帯の方は事前にボール検量の事。（1個500円・本大会のみ使用）  
※ボール表面の調整及び表面加工についてはシフト間のみ可能（ゲーム中・ゲーム間は不可）
- 11) 選手は必ず選手名及びBPAJ加盟のボウリング場名又は所属団体名を入れたユニフォームを着用、又、選手はスポーツマンとして恥じない品位のある服装で来場のこと。
- 12) 競技者は競技中の喫煙を禁止とする。又、飲食に関しては競技中でもプレーに支障がない限りボウラーズベンチ後方にてとることが出来る。
- 13) スムーズな大会進行を行うために左右1レーンが空いたら投球する。
- 14) その他は、トラブルが発生した場合は競技委員長が最終協議裁定を行う。